



SSKP

つくしんぼの  
会報誌

つくつく通信

No.61

「つくしんぼ」はハンディのある子どもたちの放課後活動のスペースです

編集～「フリースペースつくしんぼ」 東京都町田市小川1511 TEL/FAX 042(796)8468

## やきいも会で思うこと

11月16日、つくしんぼの庭でやきいも会が行われました。数日前よりつくしんぼの子どもたちと職員が近くの公園から集めてきた、たくさんの落ち葉があります。つくしんぼのまわりにはやきいも会のポスターも貼りました。当日は冷たい風の吹くやきいも日和。庭の中央にはたき火です。

30年前、この時期に木々からはらはらと落ちてきた枯葉を母が竹ぼうきで集めては家の前のじゃり道でたき火をしたことを思い出します。特別に「やきいもやるよ」と声高に言わなくても隣近所の仲良しが集まり、たき火に数本のさつまいもを入れて、焼きたてをほおばったあの頃。仲間と食べるほくほくのおいしいやきいも、そんな気分を子どもたちに少しでも味わってほしくて、つくしんぼのやきいも会は続いているのかもしれない。

つくしんぼのやきいも会も今年で通算して7回目(?)。やきいもの段取りもすっかり板につきました。木材を燃して炭にして、落ち葉で山を作り、その中に濡れ新聞紙とホイルで包んださつまいもをいれます。今年は新メニューも登場!パンミックスで準備した簡単パン生地をひも状に伸ばし、木の枝にくるくると巻きつけ炭火であぶりました。たき火って、おもしろいです。

普段はなかなかつくしんぼの中に入って来れない高学年の小学生たちも、この日は遊びに来ていました。目的はおいもだけでなく、つくしんぼの庭で堂々と遊べるという魅力に誘われたからなのでしょう。学校帰りの子どもたちがつくしんぼのフェンスの向こうからこちらをみている光景を時折見かけます。「じゃましたらわるいな」と思って遠慮しているのでしょうか。

「ハンディのある子もない子も一緒に楽しめるのがクッキングです」障がい児教育の先生がおっしゃっていた言葉です。やきいも会の光景を眺めながら、やきいもを囲んで地域の子子どもたちが一緒の環境を共有している、と感じました。一緒の時代を生きていく彼らたちが、これからも仲間いられますように。



## 町田国際版画美術館アートバザー11に ご来場ありがとうございました

11月2 3日に、いつも絵画造形教室でお世話になっている高尾先生と一緒に、つくしんぼの子どもたちの作品を販売させていただきました。

タマゴの殻を草木染めし、それをタイルアートのように写真立ての額や植木鉢に貼り付けた物、きれいな陶器のかけら(実はかけたお皿やお茶碗)を埋め込んだコップや写真立て、子どもがデザインしたコルクボード(メモを画びょうで貼れます)など並べました。

つくしんぼを応援してくださっている地域のお母さまから寄付していただいたビーズのアクセサリーも好



評を博しました。

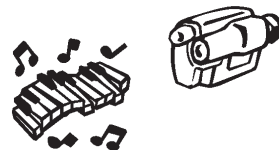
買いに来てくださったお客さま、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



### 支援金 ありがとうございます

(株)リコー 社会貢献クラブ FreeWill様より楽器・ビデオ等の購入費として20万円の支援金を頂戴いたしました。大切に使用させていただきます。

FreeWill様、本当にありがとうございました。



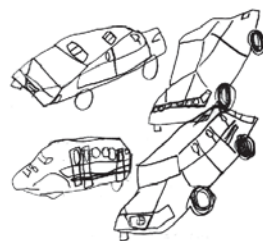
今回のキッズタイムは、ミユちゃんのお兄さんのユウマくんです。お母さんにお話していただきました。

ユウマは私のおなかの中にいる時からほんとによく動く子で、3才くらいまでは公園とか遊びに行っても、スベリ台やブランコなどでは全然遊ばず、公園の中をただずっと、走り回ってるだけでした。1時間以上走っても疲れを感じないようです。「名前の漢字に馬を使ったのがよくなかったのかなあ...」と本気で思ったこともありました。そんなユウマも早いもので小学2年生になりました。あの頃よりだいぶ落ち着いたと思います。

今年は妹も学校に入学して、お兄ちゃんという自覚も出てきたみたいで、なにかと妹のことを気にかけてくれます。電車に乗ってる時とかも外の景色を見たく

てドアの前に立ってることが多いんですが、ユウマは妹と反対側のドアの前にも、アナウンスの「ドアが開きます」や「ドアが閉まります」が聞こえると、「あぶない!!」とサッと来て妹の腕を引っ張り、ドアの前から離してくれるんです。いつも反抗的ですぐにキレル、なのにとっても小心者という印象のユウマですが、そんな時はとても頼もしく見えます。

苦手なこともたくさんあるけど、これからも強くて優しいお兄ちゃんになってください。





### 「お話し会のこと」

『♪ろうそくぱっ もひとつぱっ これから始まるお話し会……』

ひとさし指でろうそくを作りながら、月に1度のお話し会が始まります。毎回3、4冊の絵本を子ども達と共に楽しめます。「鶴の恩返し」「わらしべ長者」「ねずみじょうど」など昔話や「ターちゃん」とペリカン」「ぐりとぐら」「かばくん」など。本の名前を挙げると、その時の子ども達の様子が思い浮かびます……。

タカちゃんは面白い所になるとやって来る。本の中で歌を歌う場面になると、カスタネットを鳴らしながらやって来たり、「あおくときいろちゃん」のプラスチック板を出すと、さわってみたくなったり。

ユウマちゃんとミユキちゃんは「ラチとライオン」ではぬいぐるみを使って演じてくれた。二人はぬいぐるみ達になりきり、参加型の楽しいお話し会となった。

エリちゃんは「やさいのおなか」。野菜の輪切りのシルエットを次々と当てる。大人でも分からないような野菜まで答えるので、エリちゃんは家でよくお手伝いをしているんだと思う。

カスミちゃんは盛り上げ上手。お話で面白い所があると、楽しそうに笑う。場の雰囲気、ふわっとなごむ。

「こすずめのぼうけん」を読んだ時のこと。ヒロキくんが悲しそうに、大きな瞳か

ら涙をポロポロこぼした。本を選ぶ時、ふっとヒロキくんの顔を思い出す。

ユウキくんは、丸くなって座ると「あのね……」と人なつこく話しかけてくれる。チーちゃんは、とても真剣なまなざしで絵本を見詰めている。そして絵本が終わるとばあーっと笑顔にかわる。

カズくんは、いつもニコニコ。次は何の本かな、という表情で座っている。「さあ次はね……」とこちらにも力が入る。「へんてこライオンがいっぱい」のライオンのへんてこさが気に入った様子。

ミユちゃんは声を掛けると座り、不思議そうに愛くるしい瞳でこちらを見詰める……。

ユウちゃんは4月の回に一度だけ。おもちゃで遊ぶのが楽しくて、椅子には座らなかつたけれども、でもちゃーんと知っているんだ、お話を聴いていたこと。「いただきまーす」の言葉に、おやつかと思って振り向いたでしょ？

良い絵本やお話には底知れぬ力があり、聴く人に智恵や勇気を持つことを教えてくれるように思います。そして、もうひとつ。日本語のもつ美しい響きを、絵本やお話を通して子ども達に伝えたいと思っています。子ども達が、そんな絵本やお話と出会うきっかけをつくっていききたい……。

つくしんぼのような暖かみのある環境で、信頼関係のある人達の中で、子ども達が安心してお話しを聴くことができる。そんな場(つくしんぼ)に感謝しつつ、今日もまた本を選んでいきます。

さてお話し会の最後は、丸くなってわらべうたを使って遊びます。今日は何をしようか、「ずいずいずっころばし」「あずきっちょまめっちょ」「かごめかごめ」「あぶくたった」。遊んだ後は、一人ずつ手を握って

『♪さよならあんころもち またきなこ、また来月会おうね!!』



# つくつく通信の裏表紙



今年の10月、つくしんぼの代表である私(山下)が出版した小説の表紙です。タイトルは「ぼくはうみがみたくなりました」(ぶどう社刊)と言います。あ、決して自費出版ではありません。(^^)

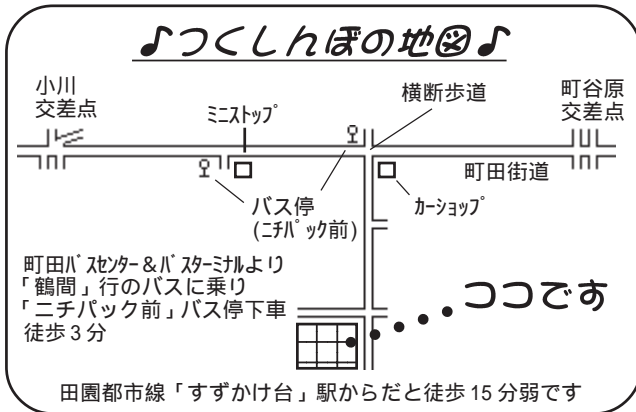
自閉症の青年と看護学校に通う女性とヒッチハイクの老夫婦の4人が奏でる1泊2日のほんわか物語です。

小さな出版社からの発刊ゆえ、流通ラインにのりにくく、本屋さんにも並ぶこともほとんどなく、書店注文経由かネット注文で地味に営業を続けておりますが、お陰様で評判だけはすこぶる上々だったりしています。自閉症の関係者と養護学校等の先生方には、絶賛まで頂いています。(^^)

あったかい話ですね、って、よく言われます。たぶん、自閉症を否定することなくストーリーが進んでゆくからかも知れません。今まで、自閉症を取り上げた作品はいくつかありましたが、いずれも自閉症を悲しい障害として描いたものばかりでした。まあ、とにかく私はそれをしたくなかっただけなのですが……。

自閉症のことをほとんど知らない人に自閉症を理解して貰うのにこんな読みやすい本は今までなかった、ともよく言われます。そりゃ専門書は難いし、親の手記だとどうしてもクラくなっちゃいますし……。

まだ読んで下さってない方(がほとんどでしょうけど)は、ぜひ、つくしんぼのHP経由でご注文頂けたら嬉しいです。決して損はさせませんので……。(^^)



《ボランティア・ご寄付ありがとうございました》

川本様、浜田様、荒川様、平野様、山形様、西京様、六十苅様、山本様、菊田様、大工原様、横溝様、山下様、鈴木様、岩崎様、小田島様、周東様、植松様、山内様

福井様、小林様、高尾様、林様、川本様、三箇山様、青木様、宇田川様、三砂様、森様、栗田様、大場様、三原様、古川様、沖山様、長谷川様、山田様、渡部様、渡邊様、新井様、泉山様、中曽根様、渡辺様、田木様、廣田様、飯田様、大福地様、池端様、米山様、伊藤様、橋本様、春田様、周東様、石川様、伊藤様、吉田様、内山様、松尾様、佐藤様、山下様、株式会社リコー様、法政大ピュアピュア様、ひまつぶしdeすづくん様、サイドバイサイド様

(9月~11月)

## つくしんぼをささえる会 ご入会・ご更新のお願い

フリースペースつくしんぼはハンディをもつ子ども達の放課後活動の場として活動しています。96年5月に開所し、現在は補助金を頂いていますが、運営面で苦しいのが現状です。

よろしかったら「ささえる会」の会員になって頂けませんでしょうか。年会費2000円(一口)でお願いしております。

会員の皆様には、この会報誌「つくつく通信」を送付させていただきます。よろしく願いできましたら幸いです。

郵便振替口座番号  
00120-7-168283  
加入者口座名称  
フリースペースつくしんぼ